

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 5月12日更新

事務事業名		土壌診断助成事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	6	産業の健幸		所属部	産業振興部
	施策	23	農業の振興		所属課	農政課
	業務分野	67	生産基盤の確保と経営力の強化		所属班	農政班
課長名		坂本 卓博		担当者名		今村 萌
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 11537
法令根拠						
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	作物等の栽培指導の一環として、作物栽培の基本となる「土壌」の分析及び診断を行い、適正な施肥管理を推進することによる安定生産と品質向上を図るとともに、過剰施肥を防止することにより、硝酸性窒素による地下水汚染などの環境への負荷軽減を図ることを目的とする。
【業務の流れ】	補助金交付申請→内容審査→交付決定→補助金請求→支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画
 ①6年度事務事業の成果・実績
 市土壌診断助成事業補助金交付要綱に基づき、土壌分析及び適切な施肥による作物品質の向上及び環境負荷低減のため、令和6年は対象者115件(内訳：クワン・マルシェとりまとめ分89件ほか26件)に補助金を交付した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容) 事業申請受付から補助金交付までの一連事務	③予算の主な増減の理由
成果指標 ア 適正な施肥管理に取組むようになった農家の割合(補助金申請者÷農家戸数×100%) イ ウ	(単位) % データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	10	18.9	1.7	16.6	1.7	1.7	1.7	0
事業費	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	58	52	65	57	65	65	65	65
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	57	56	65	58	65	65	65	65
	(A)事業費計	千円	115	108	130	115	130	130	130	130

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 広報やJA等の協力を得て事業の周知を図っているが、申請者の増加にはつながっていない。補助金額が少額であるため、農家等にとっての魅力が低い可能性がある。しかし、生産性の向上や地下水汚染防止等の観点から、有用な事業であるため、引き続き、周知徹底を図っていくことが重要と考えられる。

(4)今後の事業の方向性
 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)